



INDIUM CORPORATION OF AMERICA ® ¥EUROPE • ¥ASIA-PACIFIC
INDIUM CORPORATION(蘇州) •
安全データシート

免責事項:

ご使用の際は、本MSDS(SDS)の健康及び安全項目を確認して、各国で該当する法律を確認の上、適宜適用してください。本MSDS(SDS)はすべての国の安全衛生法を参照するものではありません。特定の化学薬品表をすべて確認し、それらの要件を必要に応じて適用することを含みますが、それに限らず、どの法律の対象となるかを見極めるのは使用者の責任となります。

1.製品および会社情報

製品特定名: PoP FLUX 8.9HF-LV

MSDS番号: MSDS- 4839

改訂日: 2013年3月05日

製品の用途: 産業用 - はんだ付け用フラックス(混合物はアーティクルに規定されていない)

製造者:

米国:

The Indium Corporation of America
 1676 Lincoln Ave., Utica NY 13502
 電話: (315)853-4900
 nswarts@indium.com

緊急連絡先:

CHEMTREC 24時間対応
米国内: 1 (800) 424-9300
米国外: +1 (703) 527-3887

ヨーロッパ:

Indium Corporation of Europe
 7 Newmarket Ct.
 Kingston, Milton Keynes, UK, MK 10 OAG
 電話: +44 [0] 1908 580400

中国:

钢泰科技(苏州)有限公司
 中国江苏苏州工业园区
 星龙街428号
 苏春工业坊
 14C单元
 邮编: 215126
 電話: (86)512-6283-4900

アジア:

アジア太平洋地区 - シンガポール
 29 Kian Teck Avenue
 Singapore 628908
 電話: +65 6268-8678

2. 危険有害性の要約

主な侵入経路:

・ 眼 ・ 吸入 ・ 皮膚 ・ 摂取 NTP

以下に記載された発がん性物質

IARC OSHA ・ 記載なし

GHS分類:



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

H302	飲み込むと有害
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319	強い眼刺激
H334	吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
EUH208	ロジン含有。アレルギー性反応を起こすおそれ

注意書き

P233	容器を密閉しておくこと
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること
P270	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと
P273	環境への放出を避けること
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
P362	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
P302 +P352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと
P304 + 341	吸入した場合: 呼吸が困難な場合に、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
P305 + 351	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと(15分)

潜在的な健康影響:

目に入った場合:	直ちに除去しないと強い眼刺激を与える。眼に重篤な損傷を与えるおそれがある。
飲み込んだ場合:	飲み込むと有害。口、食道、消化管を刺激および損傷するおそれがある。
吸入した場合:	加熱蒸気を吸入すると有害のおそれがある。気道を刺激する。ロジンは職業喘息を起こすおそれがある。
皮膚に付着した場合:	皮膚を刺激するおそれがある。反復又は長期にわたる暴露によりアレルギー反応が起こる可能性がある。
慢性:	加熱製品への長期にわたる又は反復暴露は、刺激を起こす又は有害のおそれがある。
注意:	インジウムコーポレーションは同社製品一切を食用として製造、販売または推奨しません。

3. 組成および成分情報

成分	% wt	CAS登録番号	PEL mg/m ³	TLV-TWA mg/m ³	TLV-STEL mg/m ³
ロジン	40-45	65997-05-9 (EU)	N.E. 0.05	N.E. N.E.	N.E. 0.15(増感剤)
ポリグリコールエーテル	35-40	9038-95-3	N.E.	N.E.	N.E.
危険有害性を示さない 専有活性剤	15-25	-	N.E.	N.E.	N.E.

EUにおける届出が必要なReach規制対象の高懸念物質(SVHC)は含まれていない。

N.E. = データなし

EU = 欧州の職業暴露限界

4. 応急措置

- 目に入った場合:** まぶたを開き、多量の水で15分以上眼を洗浄する。刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
- 飲み込んだ場合:** 被災者に意識があれば、訓練を受けた者の指示で吐かせる。意識のない者に、絶対に口から何も与えないこと。直ちに医師の診断、手当を受けること。
- 吸入した場合:** 空気の新鮮な場所に搬出する。呼吸が停止している場合は、訓練を受けた者が人工呼吸または酸素を吸入する。医師の診断、手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合:** 汚染された衣類を脱ぎ、接触部分を水と石鹼で洗うこと。再使用する前に洗濯をすること。刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。

5. 火災時の措置

- 引火点:** データなし。 **方法:** データなし。
- 自然発火温度:** データなし。
- 燃焼限界:** 限界データなし、可燃性／引火性なし。
- 消火剤:** 周囲の状況に応じた適切な消火器を使用する。
- 特定の消火方法:** 消火を行う者は、必ずNIOSH認定の内蔵型呼吸装置と、完全防護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 漏出または流出の処置:** 呼吸用保護具及び適切な保護装置(「暴露防止及び保護措置」の部を参照)を着用する。漏出した液は不活性物質(乾いた砂または土など)に吸収し、化学物質廃棄用容器に回収する。連邦、州、地方自治体の規則に従い廃棄する。現場は十分な換気を行う。EUでは特別廃棄物規則を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意:	使用していないときは容器を密閉しておくこと。漏れのないよう注意する。加熱された製品の吸入を避けること。眼、皮膚、衣類との接触を避ける。十分な換気を行う。
保管上の注意:	蓋をしっかりと閉めた元の容器に、乾燥した冷暗所で保管する。熱、火気から遠ざけること。禁忌物質から遠ざけること。空の容器には製品の残留物が残っているため危険有害のおそれがある。

8. 暴露防止及び保護措置

工学的管理:	十分な換気を行えば、空気中のレベルと暴露を最低限に制御できるはずである。製品を使用、特に加熱する際は排気装置を使用すること。
保護措置:	
目の保護具:	安全眼鏡/ゴーグル。はねの危険性がある場合は保護面。
呼吸用保護具:	空気中濃度の上昇が予測される特定の状況下では、当局承認または準拠表示のあるガス/有機化学物質カートリッジ付きの空気清浄マスクが推奨される。
皮膚の保護具:	互換性のある化学物質に耐性を持った手袋。適宜、防護服、エプロン、腕カバー。直接暴露から皮膚を守ること。
その他:	作業場に洗眼器。フュームが多量に発生している場所でのコンタクトレンズの使用は避けること。
労働/衛生上の予防措置:	整理整頓を適正に行う。漏れは直ちに掃除すること。作業場での飲食、喫煙は避けること。作業場を離れる際は、水と石鹼でよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観:	フラックス - 黄色	沸点:	データなし
臭い:	独特の微臭。	融点:	データなし
比重:	データなし	pH:	適用なし
蒸気圧:	データなし	水への溶解性:	非水溶性
蒸気密度:	(空気 = 1) 該当なし。		

10. 安定性及び反応性

一般:	安定している。
避けるべき条件:	凝固点温度。高温。
禁忌物質:	酸、塩基または酸化剤
危険有害性のある分解/燃焼:	データなし
危険有害性のある重合:	起こらない。

11. 有害性情報

発がん性: NTP: なし

OSHA: なし

IARC: なし

LD50: データなし。

LC50: データなし。

その他: ロジンフラックスへの長期にわたる、または反復暴露は、職業喘息を引き起こすおそれがある。専有成分を含む全成分は発がん性物質に記載されていない。

12. 環境影響情報

未テスト。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法: 連邦、州、地方自治体の環境規制全てに従い廃棄すること。ヨーロッパでは特別廃棄物規則に従うこと。

14. 輸送上の注意

該当規則及び要求に従って輸送する。US DOT(米国運輸省)による規制はない。輸送モードでは危険有害性を示さない。

国連分類 - なし

15. 適用法令

本製品安全データシート(MSDS)の情報は、ここに発布された米国労働安全衛生法(Occupational Safety and Health Act)(29 CFR 1910.1200 ET.SEQ.)の要求に適合する。

本製品はカナダの管理製品規則(Controlled Products Regulations: CPR)規定の危険基準に従い分類されている。

カナダWHMIS: D2B - その他の毒性作用の原因製品(Materials Causing Other Toxic Effects)(刺激物又は感作性物質)



本製品はシンガポール共和国の産業衛生局(Dept. of Industrial Health)規定のガイドラインに従い分類されている。

SARA 313条記載(TRI Reporting)- 40 CFR 372.65 - 14% 専有ポリグリコール-エーテル

全成分は米国環境保護庁(USEPA)のTSCA Inventoryに記載されている。

RoHS指令 = 危険物質に関する制限(Restriction of Hazardous Substances)。製品は同指令記載成分を含まない。

日本:

毒物及び劇物取締法(PDSCL): 成分はいずれも該当しない。

消防法(FSL):規制なし/危険物ではない。

労働安全衛生法(ISHL):成分は該当する。

PRTRおよび化学物質の管理促進法、第一種指定化学物質:該当なし。

廃棄物処理法:本製品は廃棄処理上危険物質に分類されていない。

第二種指定化学物質:成分はいずれも該当しない。

化学物質インベントリリスト/労働安全衛生法対象物質リスト記載成分に該当する。

SDSを確認の上、適宜規則を適用すること。

EC分類、包装、表示要件:

製品のシンボルと危険有害性分類

Xi

リスク警句:

- R22 飲み込むと有害
- R36/37/38 眼、呼吸器系および皮膚を刺激する
- R42/43 吸入するとおよび皮膚と接触すると感作を引き起こすおそれがある

安全勧告文:

- S20/21 使用中は飲食、喫煙厳禁
- S23 フューム/ガス/蒸気/スプレーを吸入してはならない
- S24/25 眼と皮膚との接触を避ける
- S36/37/39 適切な保護衣と手袋、保護眼鏡/保護面を着用すること
- S28 皮膚と接触した場合、直ちに多量の石鹼と水で洗浄すること
- S62 飲み込んだ場合は、吐かせずに、直ちに医師の診断、手当を受け、容器または表示ラベルを見せること
- S7 容器を密閉しておくこと

16.その他の情報

HMIS Hazard Rating:	健康障害:	1
	火災危険性:	1
	物理化学的危険性:	0

改訂日: 2013年3月05日

作成者: Indium Corporation of America、Nancy Swarts

承認者: Indium Corporation of America、Nancy Swarts

記載及び推奨した内容は発行日時時点で、正確かつ信頼できるものであると確信していますが、Indium Corporation of Americaはその正確性または信頼性を保証するものではなく、その使用に起因する一切の損失または損害の責任を負いません。情報及び推奨は、使用者の参考と検討のために提供するもので、特定の使用についてそれらが適当かつ完全であると確信する責任は使用者にあります。購入者が本製品を再包装する場合は、健康、安全その他の必要情報が容器に表示されていることを保証するために、弁護士に相談してください。